

区民
かわ
ら
版

はねず踊り 国民文化祭に出場

財団法人伝統文化活性化国民協会の認定事業である「はねず踊り」が、この度、京都市及び京都府の推薦を受け、「第24回国民文化祭・しずおか2009」で披露されました。

国民文化祭とは、舞踊・演劇・美術など日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を披露する「国内最大の文化祭典」です。毎年、各都道府県の持ち回りで開催されており、平成23年には京都で開催されます。

静岡県函南町で開催された「パフォーマンスフェスティバル」で、はねず（薄紅）

色の華やかな衣装に身を包んだ少女たちが登場しました。小野小町と深草少将との悲恋のわらべ歌に合わせた、上品で愛らしい踊りに会場から大きな拍手が起きました。

はねず踊りは、毎年3月の最終日曜日に、小野小町ゆかりの寺・隨心院にて開催されます。

問合せ先 はねず踊り保存会（☎571-0025）



社団法人山科経済同友会から 山科区役所に寄贈

今年結成40周年を迎えられた山科経済同友会から、まちの観光振興や住みよいまちづくりの一助として、山科区役所に清水焼の陶灯路用作品とデジタルディスプレイが寄贈されました。

陶灯路は、11月に開催した京都・やまの観光ウィ



ーク「恋の地・平安浪漫の路 in 勸修寺・隨心院」で、両寺院の門前に設置し、イベントをやさしい灯りで演出しました。今後も、まちの観光振興のために活躍することが期待されます。デジタルディスプレイは、区役所で開催される主な事業などを表示し、来庁された方の案内役として、区役所1階正面ロビーで皆さんをお迎えしています。

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）



おこしやす“やまの”協議会 ミス小野小町と神戸・三ノ宮で京都・山科をアピール

11月9日、JR三ノ宮駅において、おこしやす“やまの”協議会キャラバン隊が、京都・山科への観光を呼び掛けるためのPR活動を行いました。



会員10名と、昨年度の隨心院「ミス小野小町コンテスト」で選ばれたミス小野小町3人が、山科区の観光マップや区内イベントのチラシ、

山科特産の飴を配布しました。

振袖姿の艶やかなミス小野小町たちも加わったPR活動に、駅を行き交う人々は、山科の魅力に興味津々でした。

また、ミス小野小町たちの登場は、神戸の町に華やきを添えていました。

神戸から、山科への観光客の増加に期待されます。

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）



勸修寺菊花展表彰



勸修寺菊花愛好会による菊花展が10月20日から11月18日まで勸修寺で行われ、次の方が表彰されました。

<主な入賞者>

大本山勸修寺門跡賞	京都市長賞	山科区長賞
岩下友行さん	森川八洲男さん	林 忠司さん
勸修寺菊花愛好会会長賞	京都新聞社賞	
小林四代嗣さん	大橋宏美さん	

見上げてみよう 山科の空 — 花山天文台から — 最終回 太陽表面の爆発を観る

今年7月22日には、ほぼ全国的に日食がありました。雲間から太陽が欠けてゆく様子をご覧になった方も多いと思います。今回は、この太陽という天体の普段の姿を紹介いたします。

熱と光を与えて地球上の生き物を育てている太陽。一見穏やかに見える天体ですが、その表面では激しい爆発現象が起こり、地球にも様々な影響を与えることが分かってきました。

花山天文台で太陽観測に使っているのは、18cm屈折望遠鏡（図1）と70cmシーロスタット望遠鏡（図2）です。図3は18cm屈折望遠鏡で観測された太陽面での爆発の様

子で、太陽の一部を拡大し明るさの時間変化を示したものです。このような爆発はフレアと呼ばれ、黒点の近くでよく起こり、突然明るく輝き始め何時間も続きます。この時、放射線であるX線や高速の粒子が大量に放出されます。また、秒速数百kmで雲のようなガスの塊が飛び散る現象もよく起こります。

このフレアから放出される放射線や高速ガスは、地球に降り注ぎます。幸いなことに、地球の空気がX線などを吸収するため、地球の表面には放射線は届きません。また、地球内部の磁力が上空まで広がり、高速粒子や高速ガスが地球への侵入を防いでいるため、地上の私たちには大きな影響はありません。

ところが近代、人類は宇宙空間に進出し始めました。ここでは空気が地球磁場の保護がなく、フレ



図1 18cm屈折望遠鏡



図2 70cmシーロスタット望遠鏡



図3 太陽フレアの時間変化

アの影響をじかに受けます。このため、人工衛星の故障、宇宙飛行士の被爆、無線通信の乱れ、場合によっては高圧送電網の変圧器の焼損なども起こります。フレアは人類の活動に大きな影響を持つことが分かってきたのです。京都大学では花山天文台と飛騨天文台で毎日観測を行い、世界中の研究者と協力して日々フレアの原因解明に努めています。

花山天文台では一般公開や観望

会で、太陽観測望遠鏡やその日の太陽の様子などを皆さんに紹介しています。催しの案内を随時、花山天文台のホームページ（<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp>）に掲載しています。一度、機会をとらえて花山天文台の太陽観測の様子をご覧ください。

京都大学大学院理学研究科
附属花山天文台

北井礼三郎准教授執筆